



平成17年度 / 第1四半期

# 決算説明資料

---

株式会社 ソフトフロント  
証券コード：2321  
(大証ヘラクレス)  
2005年8月5日

## 本日の説明内容

■平成17年度 第1四半期決算について

■平成17年度 業績見通しについて

当資料中、当社の現在の計画、概算、戦略、判断等の記載、又はその他の既に確定した事実に基づくもの以外の記載は、将来の業績についての見通しに関するものです。これらの見通しにつきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。予想には、様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる可能性がありますので、この業績予想に全面的に依存した投資等の判断は差し控え願います。

## 平成17年度 第1四半期決算について

資料中の数値は円単位の数値を百万円未満を切捨てし、また、パーセント表示は円単位の数値を基に算出した計算結果の小数点第1位未満を四捨五入して表示しております。

## 平成17年度 第1四半期 : 業績の概要

(単位: 百万円)

	平成16年度 第1四半期	平成17年度 第1四半期	増減
売上高	57	63	5
営業損益	106	125	18
経常損益	107	129	21
当期純損益	108	129	21

減益要因: 売上は増加したもののSIP関連新製品開発に関わる研究開発費の増加、必要人材獲得に向けた採用活動およびブランド力向上のためのCI活動に対する支出増加により、前期に比べ営業損益で17.8%ほど減益となっております。

## 「売上高」の状況

(単位：百万円)

		平成16年度 第1四半期	平成17年度 第1四半期	増減
売上高		57	63	5
	SW販売	24	37	12
	受託開発	33	25	7

- SW販売額が前年同期にくらべ53.5%増加しており、「ライセンスビジネスを成功させる」という当社の目標に沿う形で売上が推移しております。

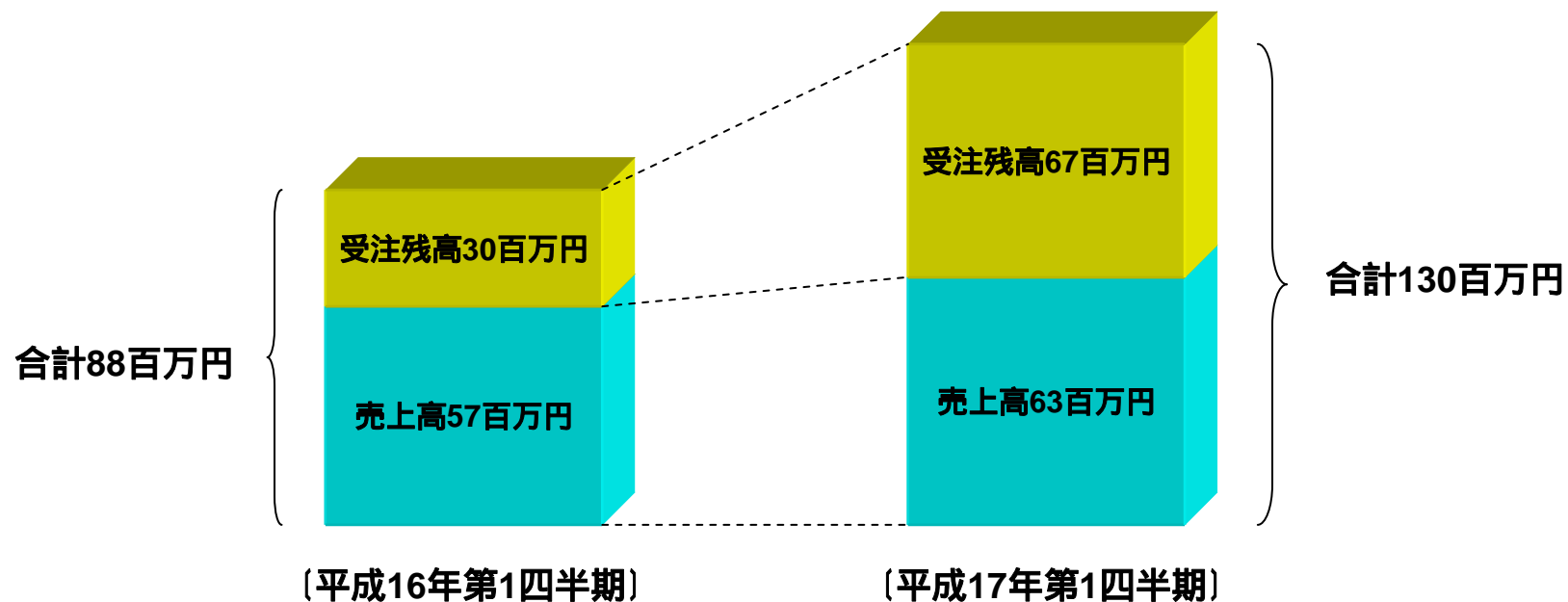
## 「受注高」の状況

(単位：百万円)

	平成16年度 第1四半期	平成17年度 第1四半期	増減
受注高	61	112	51
受注残高	30	67	36

- 受注高は前年同期に比べ83.4%増加しております。
- 第1四半期期末時の受注残高に至っては前年同期と比べて120%増となっており、第2四半期以降へ繰り越される売上の増加が顕著となっております。

## 【参考】売上高と受注残高合計の前年比較



- 売上高は前年同期に比べ10.1%の増加にとどまっておりますが、受注残高まで合わせたものと、前年同期から48.3%増となっております。

## 「研究開発費・減価償却費」の状況

(単位：百万円)

	平成16年度 第1四半期	平成17年度 第1四半期	増減
研究開発費	39	53	13
減価償却費	20	21	0

- 研究開発費は、SIP関連新製品開発のため前年同期にくらべ35.4%増加しております。



## 平成17年度 第1四半期 : キャッシュ・フローの概要

(単位：百万円)

<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>+ 3</b>
税引前当期純利益	128
減価償却費	+ 21
売上債権の減少	+ 118
仕入債務の減少	3
貸倒引当金の減少	0
その他	9
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>9</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>+ 529</b>
<b>現金及び現金同等物の増減額</b>	<b>+ 523</b>
<b>現金及び現金同等物期末残高</b>	<b>1,280</b>
<b>フリー・キャッシュ・フロー</b>	<b>6</b>

## 平成 17 年度 業績見通しについて

資料中の数値は円単位の数値を百万円未満を切捨てし、また、パーセント表示は円単位の数値を基に算出した計算結果の小数点第 1 位未満を四捨五入して表示しております。

## 平成17年度 業績見通し

平成17年5月13日に発表した見通しに変更はございません。

(単位：百万円)

	平成17年度 業績見通し			前年同期比		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	276	481	757	+ 108	+ 169	+ 277
営業利益	153	69	84	+ 4	+ 109	+ 113
経常利益	155	67	88	+ 16	+ 118	+ 134
当期純利益	156	66	90	+ 60	+ 121	+ 181

研究開発費の見通し：140百万円（前年同期比 22百万円）

減価償却費の見通し： 77百万円（前年同期比 7百万円）